

三一三番

ただひとり 寝れど寝かねて 白たへの 袖を笠
に着 濡れつつそ来し

三一四番

雨も降る 夜もふけにけり 今更に 君去なめや
も 紐解き設けな

三一五番

ひさかたの 雨の降る日を 我が門に 蓑笠着ず
て 来る人や誰

三一六番

巻向の 穴師の山に 雲居つつ 雨は降れども
濡れつつそ来し